



## 稲は命の根なり

客員 相談役 藤井 基之

本年の4月から75歳以上の高齢者を対象とする新しい後期高齢者医療制度が実施されることになっています。日本は、これから人口の3分の1は65歳以上の高齢者が占めるという超高齢社会に入っていきます。新しい高齢者医療制度はそのような高齢社会に備えての制度であるとされています。わが国は世界でもトップクラスの長寿国、特に女性の平均寿命は世界ナンバーワンの地位にあります。社会保障制度を充実させて、ますます国民みんなが元気な長寿国日本に行きたいものです。

ところで、日本は紀元前の昔から「不老長寿」の国と思われていたようです。

皆様は『徐福伝説』をご存知でしょうか。紀元前3世紀といえますから、今から約2200年前。中国は始皇帝が君臨する秦の時代でした。天下を治めた始皇帝でしたが、寿命ばかりはどうもならない、なんとか不老不死の身体を手に入れたいと、日夜いろいろな薬を用いてい

たようです。そこに、徐福という一人の方士が現れ、始皇帝に『東方の海上に、蓬莱、方丈、えい州という三神山があり、仙人がいて、不老不死の薬が手に入ります』と進言したそうです。早速、始皇帝は徐福にその薬を手に入れて来いと命じました。そこで徐福は3000人の男女、五穀の種、技術者を乗せて船出しました。徐福一行は日本にたどり着き、稲作技術や製紙技術などをもたらしたと伝えられています。縄文時代から弥生時代へ移ろうとしていた当時の日本に大きな影響を与え、以後の日本の行方を決定づけることになりました。徐福は日本建国の祖とも言われています。

さて、18年ほど前、佐賀県で吉野ヶ里遺跡が発掘され、大きな話題となりました。この吉野ヶ里遺跡は、まさにその紀元前3世紀に始まった王国の遺跡で、卑弥呼がいた邪馬台国ではないかという説もあるそうです。最初は小さなムラから出発して、次第に大きなムラへと成長し

ていき、王のいるクニへと発展していったということですが、壮大な倉庫群の跡が見つかるなど、その発展は稲作技術の導入によるところ大であったようです。

米という穀物は栄養価が高く、そのバランスも優れ、生産性が高く、長期の保存ができ、その上、美味しい。穀物としての優秀性は群を抜いていると言われていきます。日本の人口は、1万年も続いた縄文時代には16万人ほどでした。稲作が渡来した弥生時代の始めには40万人だった人口が、紀元3世紀始めには250万人と急増していきました。一粒の米から種籾が2000粒でき、2年で400万粒、3年で80億粒、4年で16兆と増える、

こんな作物は他にないそうです。ですから、稲は命の根なり」と「藻塩草」という古書に書いてあるそうです。「米さえ食っていればなんとかなる」と言っていて頑張っている日本人は独特の日本文化を、そしてこの世界一の長寿国日本を築いてきました。日本の国策の要は、米を守り、日本農業を守る、そして米文化たる日本文化を守ることでしょう。しかし、その日本の若い人たちに、米離れが起きているというのは、誠に残念でなりません。長寿の源、お米の美味しさを、調理師の皆様、どうぞ若い人たちに教えて下さいますようお願いいたします。

### ふじい もとゆき 藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条  
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会造りです。  
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。  
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告  
参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴  
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業  
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業  
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業  
昭和44年 厚生省入省  
平成9年 厚生省退官  
平成9年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団専務理事  
平成12年 日本薬剤師連盟副会長  
社団法人 日本薬剤師会常務理事  
平成13年 参議院議員  
平成16年 厚生労働大臣政務官 (平成16年9月~平成17年11月)
- 党・県連関係役職  
自民党厚生関係団体、労働関係団体副委員長  
自民党新聞局次長  
自民党医療基本問題調査会、薬事行政のあり方検討小委員会事務局長
- その他役職  
昭和大学薬学部 客員教授  
共立薬科大学 客員教授  
東邦大学薬学部 客員教授  
新潟薬科大学 客員教授  
千葉大学薬学部 非常勤講師  
京都薬科大学 客員教授  
日本薬剤師連盟 相談役